魅力発見！

おやべの職場探訪

第78回

有限会社 ボギー商事

新しい技術と手作業のこだわりを強みに　新たな可能性へ挑戦



実物は色鮮やかな糸で精巧な模様のレース

創業以来、繊維産業が息づく小矢部市で、繊細な刺繍を施したレース生地やテープレースを製造するボギー商事。「一度聞いたら忘れられない印象的な社名ですが、手掛ける製品は、精巧で優雅な美しさが魅力です。

取材で目を引いたのは、透けるほど薄い生地に、チューリップや金魚などを鮮やかな色糸で刺繍したお守り袋。県外の神社からの要望を受けて製作したもので、「お客さまを通じてつながった仕事。こうしたつながりがないとなかなか得られない」と社長は語ります。レース生地ならではのデザイン性が注目され、SNSの写真に収めたり、レース競技での勝利を願う縁起物として愛用されたりしているそうです。

一方、レース生地の市場では中国や東南アジア製品との競争が続いています。同社の強みは、ほかでは簡単にまねできない繊細なデザインと、それを形にする技術力です。国内に数台しかない多色レース対応の大型機械を活用し、500本以上の糸を操ることで、色鮮やかな生地を生み出しています。

そして、社長が何より大切にしているのが「手作業」です。生地の最終的なカットから検品までの作業は人の手で行い、不要な糸一本まで丁寧に取り除きます。「他社製品との決定的な違いは、仕上がりの美しさ。ここが当社の強みです」と力を込めます。



500本以上の糸を操る国内有数の大型多色レース織機

「どんな業態にも入っていって、型にとらわれずに提案したい」。社長の言葉からは、培ってきた技術を生かし、新たな市場を切り開こうとする意欲が伝わります。衣料品やインテリア向けにとどまらず、これまでにない分野にも活用の可能性を見いだしています。

機械による高度な技術と、人の手だからこそ実現できる細やかな仕上げ。その両方を強みに、ボギー商事は新たな挑戦を続けます。社長の柔軟な発想と確かなものづくりの技術が、レース生地の可能性を広げ、小矢部の繊維産業に新たな価値を生み出していきます。



手作業による生地カットの様子

うちの会社の強み

その1　高度な技術力が生む独自のレース生地

その2　手作業で追及する仕上がりの美しさ

事業所名	有限会社ボギー商事
設　立	平成5年2月
業　種	繊維製品製造業
住　所	和沢364-4
電　話	67-2062